

2013 年度第 1 回常任理事会 会 議 録

日 時：2013 年 4 月 18 日（木）10：30～17：00

場 所：連合會館 東京都千代田区神田駿河台

I.開会

II.会長挨拶

III.議事

1. 議長選出：福川副会長 議事録作成人：事務局 長島きよ子
2. 定足数確認：出欠表（最終頁参照）
3. 議事録署名人の指名：正副会長より川本副会長 監事より齋藤監事
4. 資料及び議案の確認、新議題の採択
新議題…二上 新フェア実行委員会より。協議事項の議案の中から部分審議あり。

【審議事項】（現在時刻で出席者 26 名+有効委任数 1 名=27 名）

(1) 入退会者について

中江専務

①入会

*資料訂正あり 茨城県 (株)想石の会員種別 C×→J◎（会社設立 3 年未満のため準会員）

11 社の入会について 全会一致 承認

友常部会長…このたび茨城県では 100 人支部会員計画をたて、支部長筆頭ががんばっています。

岡本：今回の入会者に異論はないが再入会に関する規定はないか確認したい。

専務：定款では規定なし。

②退会 中江専務

8 社の退会について全会で確認 反対なし

(2) 準会員からの移行について

中江専務

1 3 社の正会員の移行について 全会一致 承認

(3) 会費未納による退会について

中江専務

4 社の退会について全会で確認 反対なし

(4) 「役員を選定に関する規則」「会長候補者確定投票に関する細則」の変更について 中江専務

これまで 2012 年度第 6 回正副、第 2 回理事会、第 7 回正副、第 8 回正副、第 9 回正副、第 3 回常任、第 3 回理事会、2013 年第 1 回正副で協議してきた議案。

*変更点

名称：役員候補者推薦委員会⇒役員候補者管理委員会に変更

第 10 条 副会長の推挙：会長推挙 2⇒5 名以内、会長以外の推挙 10⇒6 名以内

第 13 条 監事：(推挙母体) 役員候補者推薦委員会⇒前年度正副会長会議が適任とする者を 10 人以上⇒3 人以内に登録する

白票 2+1 (欠席者委任状による) / 賛成 24 票で承認

【報告・依頼事項】 資料をもとに各担当から報告あり。

(1) 東北地区全体会議について

(菊地地区長) 白木副会長

齋藤監事（参加者意見）…中国のひとりっ子政策で生産量減が予想されるため、国内生産の重要性を再認識した、意味のあるディスカッションだった。

会長：意味のある会議報告として内容をまとめ参加できなかった会員がシェアできるような資料作成求む。

議長：次回理事会に提出されることを期待。これも会員メリット。

(2) 近畿地区全体会議について

(岸田地区長) 井口副会長

日程 7/14(日)・15(月)に決定。開催に向け、全会員にアンケート協力中。本日出席者へ提出依頼。

(3) 採石原石加工合同会議について

【採石原石部会】友常部会長

現地組合の協力も仰ぎ、入会も勧めている。生産者側だけではなく販売側の意見も聞くことができ有意義な会議となった。この会議で得たものを全国の会員に発信できるよう今後部会で協議する。

2013 年度第 1 回常任理事会 会 議 録

大川委員長（参加者意見）…小松石の高級なる所以（採掘の難しさ）など再認識。販売側として現地の声は貴重で、勉強になるものだった。

(4) ものづくり立国について 【加工部会】坂口部会長

初めてのことで勝手がわからず一部のメンバーで行ったが振り返ってみて、協力を要請することで教えることの喜び、イベントを作り上げる喜びも伝えたい。今後も継続していきたい。

上野委員長（参加者意見）…子どもの可能性を感じた。この出展内容をパッケージ化し全国の支部活動としてキャラバンで周るのもいいと思う。

会長：上野委員長に賛成。マニュアル化してはどうか。

(5) 年次 2013 参加申し込み状況について 【年次大会 2013 実行委員会】戸高委員長

本日出席者に動員のお願い。申込者数にバラつきがあるが、部屋を変更するなど臨機応変な対応を考える。

会長：いかに関東地区会員の参加数を増やせるか、支部総会などに顔を出し PR してください。

(6) あじ S F 青年部交流会後援について / 「青年石材人交流会懇親会」のご案内

【次世代育成ネットワーク委員会】大川委員長

あじ SF では例年通りの参加と年次大会 2013 での交流会のご案内。

(7) 東京都建設局霊園課に関する件 射場会長

全優石、全国石製品協同組合、石産協の三者から、東京都建設局霊園課へ今後の墓所供給にあたっての具体的な取り組みに関する質問を提出した。

(8) 栄典団体申請について 中江専務

経産省の規定に沿って検討していく。

(9) 2013 年度支部総会日程 中江専務

議長：支部総会は「会計年年度終了後 1 か月以内」= 4 月末日までに開催義務がある。開催が遅れる場合は資料だけでも作成し事務局に報告。各支部日程の再確認。

(10) 淡路島 (4/13(土)) 地震の報告 伯井常任理事

追加資料あり。別途写真、報告書など回覧。

会長：墓石部会発信で資料を会員に共有できるようお願いしたい。

<その他>

議長：お墓物語発刊にあたり、エピソード募集協力願う。(山口委員長から)

太田：採石原石部会担当副会長として資源エネ庁の採石法研修 (7/11) で講演を行う。毎年行ってきたことだが、今後引き継ぐ人材を部会で検討する。

山川顧問からの依頼で奈良県の笠石仏の修復を採石原石部会と加工部会の協力を得て行った。台石の提供を香川 (株大川石材、有坂本石芸社)、ノミ入りを三重 (株谷本石材) にて。

【協議事項】 資料をもとに各担当から説明あり。

(1) お墓の意味を啓発事業「終活読本」広告について 【広報委員会】上野委員長

これまでの広報の手法のプレスリリースだけでは対外的 PR に無理がある。石産協として消費者にアプローチしてきたことが今までなかった。ゴシップ誌におもしろおかしく書かれるならば協会からの発信をしていくべきと考える。広告出稿することで記事内容に石産協の見解が盛り込まれ、フジ産経 G から石産協の他事業をバックアップする約束。今すべきこと、来年では意味がないと考える。

越智：金額をかけるだけの説得材料が少ない。

上野：消費者にアプローチすることができていない今、広報委員会があるからにはホームページをつくるだけでなく、様々なメディアを連動し消費者を誘導していかなければ意味がない。

石本：『お墓の意味〜』は事業計画を変更した広報委員会らしいものにした方がよい。

小柴：水戸で終活フェアを行った。相談ブースでの多くの関心は樹木葬や散骨であった。お墓を作る側にとって未来ある広告にしてほしい。

柴田：何かするには必ず広報費用はかかるもの。石産協の広報費の使い方を考える良い機会。会員が広く使えるよう、会員メリットとなるものにしてもらいたい。ジャーナリストとしても赤堀氏は中立的な立場であることは間違いないが、フジ産経 G との今後の組み方も考えるべき。

会長：2012 年度広告宣伝費は 1%。これまでも石産協の広報費は少なすぎる。

福川：ようやく一般消費者向けに発信できる時期になってきた。マスコミ等の影響でお墓離れが進んでしまうことを懸念する。ここで我々から発信していくこと、石材店発信の『終活』は重要。

直前：赤堀氏はお墓や宗教に対して造詣が深く外にできる発信できる。このチャンスは生かすべき。

上野：石産協の発信の仕方について、掲載内容についてはさらに委員会で議論していきたい。5/17 に

2013年度第1回常任理事会 会議録

委員会開催するので、ぜひ参加してもらいたい。

石本：有名人のお墓を紹介することも消費者は安心する。散骨減につながると思う。

友常：有名人のお墓の石の産地が紹介されることも消費者の関心を生む。

柴田：一般の方にむけたアプローチのひとつとして歴史ブームを切り口にするのもよいこと。

熊野：石産協として新しいお墓文化創造し、イメージを作っていくのもよい。

会長：今日の議論から墓石部会にとっても方向性が見えてきたと思う。

議長：委員会に持ち帰りさらに深めた内容にて次回の上程を。

(2) 協会ホームページ（一般消費者向け）について 【広報委員会】上野委員長

ホームページ作成に明るい委員メンバーがいない。関連部会にも協力を投げかけている。委託するにはコンペも必要か。

石本：もっと予算をとってもいいと思う。消費者向けのものを作るべき。

熊野：最終的なホームページのコンセプト、作成目的を明確にした提案を期待。

議長：作成することに反対者はいない。一般消費者向けのものを作成する方向で見積りをもって委員会協議し、次回理事会にて審議上程を。

会長：湯口部会長 I T 支援 G の協力を依頼。

(3) 新フェアについて(当日追加資料有り) 【新フェア委員会】二上委員長

石産協の集大成に。内容はさらに深く協議していく。予算は高額ではあるが1回限りのフェアでなく、この内容を地区支部でも使えるものにしていくことで使い捨てにならないものとしていきたい。

柴田：お墓相談室としての経産省の後援はとれるだろう。お墓D委員動員もお願いしたい。上野公園は東京都の霊園課と同じ部署。つながりを得るチャンス。

越智：業界人には親しみやすい名称だが、読み方やサブタイトルで一般の人にもわかりやすいものに。

福川：広報なくしては動員を見込めない。PR をすることも目的のひとつ。イベント内容についても委員会、部会の協力を仰いでつくりあげていく。3月上旬はお彼岸前でメディアが取り上げてくれやすい。桜が咲くと場所がとりにくく、また、業界でも繁忙期になるため。

会長：厚労省にもはたらきかけを。ものづくり、技能士は厚労省の管轄。

<部分審議>

① 名称：NIPPON 石博（ニッポンイシハク）

② 実施日：2014年3月8日（土）・9日（日）

③ 実施場所：東京都上野恩賜公園噴水前広場

④ 経産省後援依頼

全会一致で承認

(4) 墓理法について 【社会調査委員会】柴田委員長

「墓理法の研究」前回協議上程した結果を委員会で整理し事業の変更をしたい。最低限の予算に抑えて墓園協会の調査研究データをいただく。

議長：傍観しているとあらぬ方向に行ってしまうよう実態調査し理解を深める。⇒次回理事会審議

(5) 定時総会について 【事務局】中江専務

今年度より名称を「定時総会」に。毎年委任状が足りずあわてるので、支部会員にアナウンスを。

タイムスケジュール、役割票、来賓リストの確認。

柴田：今後、厚労省・東京都緑化後援とのつながりは重要。議員がいてもいいのでは。

石本：厚労省との関係性は技能士育成にもつながってくる。

議長：次回正副で来賓の再確認。事務局から支部長経由で支部会員宛に定時総会の委任状提出を促すとともに支部総会を行う要請をしてください。

(6) 2012年度事業報告について 【事務局】中江専務

(7) 2013年度事業計画及び事業予算について 【事務局】中江専務

総会資料作成のために報告書及び計画書の未提出者は至急提出を。予算も含め訂正のある方は事務局に指示。各担当は部会、委員会の予算を各科目に振り分け至急提出を。

2013 年度第 1 回常任理事会 会 議 録

会長：本年の総会では、事業報告は映像を用いた 10 分程度の報告。計画は委員会、部会、地区担当の副会長から 1 名ずつの発表予定。

予算及び会費について（中江専務から説明）

望月：会費の改正を正副で協議中。従業員数に比例し会費を値上げていくこと、準会員の基準など。

議長：よい機会なので会費の改正について忌憚のない意見をいただきたい。特に従業員数と準会員の基準についてどう思うか。

・従業員数はあいまい。従業員数とは正社員だけなのか、役員、バイトは含むのか？基準を明確化したほうが良い。また、毎年確認したほうが良いのではないか。

・積極的な対外広報や宣伝活動には賛同したいので用途を明確化されれば会費値上げの説得力がある。

[準会員不要案] 準／正会員の差は？＝議決権の有無と役員就任権利

・規定があいまいなで、現在の会員を線引きするのは不可能。今となっては不要。

・現在も 3% ほど。正会員となって議決権を得たとしても会に影響があると考えられない。

・お墓を販売している仏壇屋さんは正会員になるべき。

・種別を細分化すると事務処理も面倒なので、種別はこのままで会費を値上げする。

[準会員があったほうが良い案]

・今後たとえば会に賛同する企業などスポンサーなどの入会意思があった場合の受け皿として賛助会員などがあってもよいと思う。

議長：おおむね準会員に疑問を感じているという意見。正副でまとめ、改めて上程する。

(8) 組織図（顧問団）について

【事務局】中江専務

服部先生のご辞退。会に対しては変わらない賛同を頂いているので、個別に相談を受けていただける。

(9) 2013 年度年間スケジュールについて

【事務局】中江専務

議長：周知徹底お願いします。

補記：あわせて google カレンダーも活用し、会議など予定を決める際はバッティングしないように。

監事講評及び顧問より

斎藤監事：熱心な意見拝聴し参考になりました。

吉岡顧問：一致団結し年次大会、定時総会を成功させましょう。

戸部法律顧問：この数年での間に憲法・民法改正が行われる。合意の上で契約書を締結するアメリカ的な法になる。全社が契約書を交わしていない現状を業界として改めていくことに関心をもつ。

会長：墓石部会で契約書ひな形の作成を進めているので、ご指導賜りたい。

IV. 閉 会

2013 年 4 月 18 日

議事録署名人：副会長 川本 恭央 ㊟

議事録署名人：監 事 斎藤 勝実 ㊟

議長 副会長 福川 修介

議事録作成人 事務局